

## 保守点検チェックシート

<b>プロマックス</b>	<b>2D, 3Ds, 3D, 3D Plus, 3D Mid, 3D Max</b>
---------------	---

装置を使用するにあたっては、1ヶ月に1回、以下のような点検を行なってください。

ユーザーによる点検項目		
番号	内容	チェック欄
1	外観に異常な変形や傷はありませんか？	
2	装置が傾いたりしていませんか？	
3	装置に振動などがなく安定して設置されていますか？	
4	動作範囲内に障害物はありませんか？	
5	X線照射中の表示状態は、使用説明書の内容通りですか？	
6	X線管球部からオイル漏れはありませんか？	
7	ケーブル類に、摩耗、傷、よれや引っ張られている部分はありませんか？	
8	フィルターが外れていたり、損傷したりしていませんか？	
9	照射野にズレはないか、また、照射幅が適切か、X線フィルムや検波紙で確認してください。	
10	可動部は、異音や振動がなく、スムーズに動作・停止しますか？	

装置の性能を維持するために、上記の点検の他、専門の技術者による年1回もしくは1万回撮影毎の定期点検を実施していただけます様、お願いします。定期点検にあたっては、お買い求めのディーラー又は弊社支店、営業所へお申し付けください。

以下の点検項目に従って、定期点検を実施いたします。  
※ご使用いただいている機器により該当しない項目もございます。

業者による点検項目			
分類	項目	内容	
撮影装置	設置状態	水平がとれており、固定ネジに緩みがないこと	
	電源電圧	規定電圧(100V±10)があること及び不安定でないこと	
	ケーブルの取り回し	無理のない取り回しで、一部に負担がかかっていないこと	
	ケーブルの状態	各種ケーブルに傷や汚れがないこと	
	コネクタの接続	各種ケーブルのコネクタに緩みがないこと	
	緊急停止スイッチ	動作時に緊急停止スイッチを押して、動作が停止すること	
	上下動作		上下動作時に、振動や異常音がなくスムーズに動作すること
			テレスコピックコラム及びペイシェントアームの上下動作時に、振動や異常音がなくスムーズに動作すること (※3DPlus, 3D Mid, 3D Maxのみ実施)
			天井にぶつからないように高さ設定されていること
			最低位で止まること
	アーム動作		動作時に異常音やガタつきがなくスムーズに動作すること
			動作時にGUIをタッチして、動作が停止すること
			電源が入っている状態で、アームが動かないこと
			アームを動かし、ポテンションメーターの数値が正常に変化すること
	センサ接続部		センサ接続部にネジの緩みやガタつきがないこと
			接点にダメージ、汚れがなく、脱着がスムーズなこと
	X線管球部	X線管球部からオイル漏れがないこと	
	照射スイッチ		ボタンに引っ掛かりがなく、警告音が鳴ること
			照射中にボタンを離すと、X線照射及びアームの動作が止まること
	位置付け用ビーム	適切な位置にビームが表示されており、焦点が合っていること	
サムホイール	スムーズに動作し、位置付け用ビームの表示を妨げないこと		
GUI部		ガタつきがなくスムーズに動作すること	
		タッチ位置がずれておらず、パネルが正常に表示されていること	
コントロールキー	ボタンに引っ掛かりがなく、押しっぱなしにならないこと		
X線ビーム	X線ビームが適切な位置に当たっていること(パノラマ、セファロ、3D)		
Vベルト	剥がれている箇所がないこと		
位置付け用パーツ	各種位置付け用パーツの動作・脱着がスムーズであること		
エラー履歴	エラー履歴を確認し、問題がないこと		
校正ツール撮影	ボールファントム、3DQAファントム、セファロリングアンドボールを撮影し、画像に問題がないこと		
リコンストラクション PC	外観	正面、背面に埃が溜まっていないこと	
	ケーブルの状態	各種ケーブルに傷や汚れがないこと	
	コネクタの接続	各種ケーブルのコネクタに緩みがないこと	
※3D製品に限る	保証期間の確認	メーカー保証期間内であること	
	時刻設定	時刻が正しく設定されていること	
最終確認	外観	清掃を行い、各部に汚れや損傷がないこと	
	作動確認	各部を作動させ、異常音、ガタつき、スレがないこと	
	撮影確認	各種画像が正常に取り込まれること(パノラマ、セファロ)	
	画像補正	医院の求める適切な画像濃さ、シャープがかかっていること	